

授業科目名/Subject
社会変動論

学科区分/Department	学年/Year	形態/Term	単位/Credits	担当者/Instructor
国際関係学科	3	通年	4	服部 慶巨

■ 授業概要 / Outline

● 授業のテーマ/Overall Theme for Course

国際社会の動学／静学的理解(特に日韓関係の変容について)

● 授業のねらい/Goal

人間と社会の成長過程における生活世界の拡がりは、新たな(異なる)文化との接触を可能にした。文化変容・移民(移住)・貿易などに代表される「国際交流」がその結果である。しかし、今も昔も変動しない部分も残存することを忘れてはならない。さらに、文化鎖国主義的な社会も存在している。これらの現実を動学／静学的な視点をういつつ、理解を深めていきたいと思う。

● 授業の方法/Content

まず、社会変動の概念を理解し、社会の変動する部分と不変の部分とを比較・検討する。さらに、社会変動を理論的・実践的に考察することを試みる。その際、具体的事例として日本と韓国との関係、とりわけ「日本大衆文化開放」について取り上げ、その問題点を紹介する。教科書やプリント、視聴覚資料などを用い、理解の助けとする。時間があれば、K-POPとJ-POPの比較を通しての社会変動(文化変容)の理解の機会も設けたいと思っている。

■ 授業計画 / Teaching Plan

- 第 1回 シラバス授業
- 第 2回 「社会変動」とは何か(1) 定義
- 第 3回 「社会変動」とは何か(2) 原理
- 第 4回 社会動学的視点(1) 前提条件
- 第 5回 社会動学的視点(2) culture
- 第 6回 社会動学的視点(3) 有機体的発想
- 第 7回 社会静学的視点(1) 社会構造の定義・概念
- 第 8回 社会静学的視点(2) パラメーター
- 第 9回 社会静学的視点(3) 同一視
- 第10回 発展段階論(1)
- 第11回 発展段階論(2)
- 第12回 Cultural Relativism & Ethnocentrism(1)
- 第13回 Cultural Relativism & Ethnocentrism(2)
- 第14回 Globalizationという幻想(1)
- 第15回 Globalizationという幻想(2)
- 第16回 韓国における「日本大衆文化開放」(1) 総論
- 第17回 韓国における「日本大衆文化開放」(2) eunomia と dysnomia
- 第18回 韓国における「日本大衆文化開放」(3) アンビバレンス
- 第19回 韓国における「日本大衆文化開放」(4) 位置付け
- 第20回 日韓関係の残存問題(1) 歴史教科書問題と謝罪問題
- 第21回 日韓関係の残存問題(2) 民族性・意識の変容と不変性(上)
- 第22回 日韓関係の残存問題(3) 民族性・意識の変容と不変性(下)
- 第23回 国際交流と異文化ストレス
- 第24回 まとめ

■ 教材 / Teaching Materials

● 教科書/Textbooks

開講時に指示する

●必携参考書/Required reference books

著者名/Authors	服部 慶亘
書名/Title of books	ストレス・スパイラル —悩める時代の社会学
出版社/Publishers	人間の科学社
ISBN	4-8226-0179-X
備考/Notes	

●推薦参考書/Recommended reference books

なし

■履修条件 / Prerequisites

■成績評価 / Evaluation

終講試験と平常点で評価する。

■その他 / Others

学生への連絡には、インターネットを利用する。
URL <http://nihon-u.bewith.ac>(携帯電話でもアクセス可)
在日コリアンの若い世代との交流会(希望者参加制)を企画する予定がある。

 Back

Top 